

- 問1 平安時代に発達した国風文化では、漢字を簡略化したり、その一部を用いたりして作られた「かな文字」が広く使われるようになりました。かな文字の使用が文化に与えた影響について、正しい説明はどれですか。 (2019年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|--------------------------------------|---|
| 1. 和歌や物語、随筆などを通じて、日本人の心情を細やかに表現できるようになった | 2. 武士が戦場での手柄を報告するために、短い記号のような文字が開発された | 3. キリスト教の布教のために、西洋のアルファベットが貴族の間で流行した | 4. 仏教の経典を正確に書き写すために、インドの文字がそのまま使われるようになった |
|--|---------------------------------------|--------------------------------------|---|
-
- 問2 11世紀半ば、摂政を務めた藤原頼通が宇治に建立した建築物を選びなさい。この建物は、当時の貴族の間に広まった、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰に基づき、阿弥陀如来像が安置されていることで知られています。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 中尊寺金色堂 | 2. 平等院鳳凰堂 | 3. 法隆寺五重塔 | 4. 東大寺南大門 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
-
- 問3 11世紀末、白河天皇が位をゆずって上皇となった後も、引き続き実権を握ることで始めた政治形態を何というか、次の中から選びなさい。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|---------|---------|
| 1. 院政 | 2. 封建制度 | 3. 執権政治 | 4. 摂関政治 |
|-------|---------|---------|---------|
-
- 問4 白河天皇が始めた政治の仕組みにおいて、天皇が位を譲った後に「上皇」として政治を行う体制を何と呼びますか。その名称と目的の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--|------------------------------------|
| 1. 公武合体 ― 朝廷と幕府の結びつきを強め、国の政治を安定させるため | 2. 院政 ― 摂関家の影響力を抑え、天皇家の家長として自ら実権を握るため | 3. 摂関政治 ― 天皇の外祖父として、幼い天皇に代わって政治を代行するため | 4. 執権政治 ― 将軍の補佐役として、鎌倉幕府の実権を独占するため |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--|------------------------------------|
-
- 問5 歴史の年表において、藤原氏が摂政や関白として政治の実権を握り、各地の荘園を基盤に勢力を拡大していた平安時代中期の項目があります。この時期に、それまでの中国文化の影響を土台としながらも、日本の気候や日本人の感性に合わせた独自の工夫が加えられて発展した文化を何と言いますか。 (2021年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 東山文化 | 2. 国風文化 | 3. 鎌倉文化 | 4. 天平文化 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問6 平清盛を中心とした平氏一門が政治の実権を握った背景には、皇室との密接な親族関係がありました。清盛の娘である徳子が、高倉天皇の妃として嫁ぎ、その間に生まれた子が幼くして即位しましたが、このとき平氏の繁栄を象徴する存在となった天皇は誰ですか。 (2020年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 安徳天皇 | 2. 崇徳天皇 | 3. 鳥羽天皇 | 4. 後白河天皇 |
|---------|---------|---------|----------|
-
- 問7 平安時代の仏教に関する記述のうち、最澄と彼が創始した宗派について正しく述べているものはどれですか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|---|------------------------------------|
| 1. 全国を行脚して治水工事や橋の建設を行い、庶民から「行基」と慕われた。 | 2. 唐から帰国後、高野山に金剛峰寺を建立して、真言宗の教えを広めた。 | 3. 遣唐使とともに中国へ渡り、日本で初めてとなる本格的な仏教の戒律を伝えた。 | 4. 唐から帰国後、比叡山に延暦寺を建立して、天台宗の教えを広めた。 |
|---------------------------------------|-------------------------------------|---|------------------------------------|
-
- 問8 701年に制定された、唐の法律にならって全国を治めるための仕組みを明確にした法典を何といいますか。この法典の完成により、二官八省の官制や租・庸・調などの税制が整い、天皇を中心とした中央集権的な国家体制が確立されました。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|-----------|----------|
| 1. 御成敗式目 | 2. 大宝律令 | 3. 十七条の憲法 | 4. 武家諸法度 |
|----------|---------|-----------|----------|
-
- 問9 藤原兼家から道長、頼通へと続く藤原氏の系図と、当時の皇室の系図を照らし合わせると、藤原氏が「摂政」や「関白」の役職を独占していたことが分かります。こうした役職の使い分けについて述べた、次の文の空欄にあてはまる組み合わせとして正しいものを選びなさい。「藤原氏は、天皇が幼少である時には（X）として政治を代行し、天皇が成人した後は（Y）として天皇を補佐することで実権を維持した。」 (2021年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|--------------|-------------------|--------------|
| 1. X：執権 Y：連署 | 2. X：摂政 Y：関白 | 3. X：太政大臣 Y：征夷大將軍 | 4. X：関白 Y：摂政 |
|--------------|--------------|-------------------|--------------|
-
- 問10 平安時代の政治や文化の仕組みにおいて、天皇の権威を示すために行われた文化的な活動と、その背景にある「国風文化」の特徴について述べたものとして、最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 禅宗の普及に伴い、質素な美しさを尊ぶ東山文化が栄え、銀閣などの建築物が建てられた。 | 2. 鎖国によって海外との交流が制限されたため、上方や江戸を中心に町人が担い手となる文化が発達した。 | 3. 仏教による鎮護国家を目指し、聖武天皇の命によって各地に国分寺が建立され、万葉集が記録された。 | 4. 国家の正史を編纂する事業の一環として、天皇の命により『古今和歌集』が日本初の勅撰和歌集として編纂された。 |
|--|--|---|---|
-
- 問11 平安時代、894年に遣唐使が停止されたことを背景に、それまで取り入れてきた中国の文化を日本の風土や日本人の感性に合うよう消化し、洗練させていった日本独自の文化を何と呼びますか。 (2015年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|------------|
| 1. 国風文化 | 2. 天平文化 | 3. 飛鳥文化 | 4. 弘仁・貞観文化 |
|---------|---------|---------|------------|
-
- 問12 平安時代、遣唐使の廃止などを背景に日本独自の「国風文化」が発達しましたが、この時期に貴族が住んでいた、中心となる建物と廊下、池のある庭園などが特徴的な建築様式を何と言いますか。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 武家造 | 2. 書院造 | 3. 寝殿造 | 4. 合掌造 |
|--------|--------|--------|--------|
-
- 問13 平安時代末期、現在の岩手県平泉町を拠点に栄えた奥州藤原氏は、北上川流域などで産出されるある鉱産資源を背景に、京都の文化とも異なる独自の仏教文化を築きました。中尊寺金色堂などの豪華な建築物にも象徴され、当時の重要な輸出品でもあったこの鉱産資源は何ですか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 銅 | 2. 鉄 | 3. 銀 | 4. 金 |
|------|------|------|------|
-
- 問14 平安時代の政治体制は、天皇や貴族の勢力関係の変化に伴い、大きく3つの時期に分けることができます。空海が唐から帰国して真言宗を開いた時期以降の政治の変遷について、時代順（古い順）に正しく並べたものはどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 藤原道長らによる摂関政治、白河天皇による院政、桓武天皇による国司の監督強化 | 2. 白河天皇による院政、桓武天皇による国司の監督強化、藤原道長らによる摂関政治 | 3. 桓武天皇による国司の監督強化、藤原道長らによる摂関政治、白河天皇による院政 | 4. 桓武天皇による国司の監督強化、白河天皇による院政、藤原道長らによる摂関政治 |
|--|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 和歌や物語、随筆などを通じて、日本人の心情を細やかに表現できるようになった	かな文字（ひらがな・カタカナ）の考案と普及により、漢字では表現しにくかった日本固有の感情や機微を文章にすることが可能になりました。これにより、紫式部の『源氏物語』や清少納言の『枕草子』といった優れた文学作品が、主に宮廷の女性たちによって生み出されました。
問2	答え 2 平等院鳳凰堂	藤原氏の全盛期を築いた藤原道長の子、頼通が宇治の別荘を寺に改めたものです。当時の社会では、仏教の教えが衰える「末法」の世が到来したと考えられており、極楽浄土の様子を地上に再現しようとしてこの豪華な阿弥陀堂が建てられました。
問3	答え 1 院政	1086年に白河上皇が始めたこの政治体制は、天皇の父や祖父である上皇が「院」において実権を握る仕組みです。これにより、それまで権勢を誇っていた藤原氏による摂関政治を抑え、天皇家の主導権を取り戻す狙いがありました。上皇は独自の軍事力として北面の武士を組織するなど、武士が歴史の表舞台に登場するきっかけの一つにもなりました。
問4	答え 2 院政 ― 摂関家の影響力を抑え、天皇家の家長として自ら実権を握るため	白河天皇は、幼い皇子を天皇に据えつつ、自らは退位して自由な立場の上皇（院）となり、独自の役所を設けて政治を動かしました。これは、藤原氏が摂政や関白として政治に介入する余地を奪い、天皇の父や祖父が政治の主導権を取り戻すことを目的としていました。
問5	答え 2 国風文化	894年に遣唐使が廃止されたことで、中国（唐）の文化をそのまま模倣するのではなく、日本の風土や生活に合わせて消化・吸収する動きが強まりました。藤原氏による摂関政治が行われた時期に、貴族を中心に洗練されたこの独自の文化が最盛期を迎えました。
問6	答え 1 安徳天皇	平清盛は、娘の徳子（建礼門院）を天皇の妃に送り込み、その間に生まれた安徳天皇を即位させました。清盛は安徳天皇の祖父という立場を利用して、政治の主導権を握りました。この親族関係によって平氏は全盛期を迎えましたが、後の源平合戦（治承・寿永の乱）において安徳天皇は平氏とともに西国へと逃れることになります。
問7	答え 4 唐から帰国後、比叡山に延暦寺を建立して、天台宗の教えを広めた。	最澄は天台宗を、空海は真言宗をそれぞれ唐から伝えました。最澄の拠点は比叡山延暦寺、空海の拠点は高野山金剛峰寺です。この区別は入試で非常によく問われるポイントです。
問8	答え 2 大宝律令	文武天皇の時代に完成したこの法典により、日本は法に基づく統治を行う「律令国家」としての歩みを本格化させました。それまでの慣習的な統治から、文書による組織的な行政運営へと移行した点が大きな転換点です。選択肢にある武家諸法度は、江戸時代に幕府が武士を統制するために出したものであり、この時代のものではありません。
問9	答え 2 X：摂政 Y：関白	摂政は、天皇が幼少であったり、女性であったりする場合に、天皇に代わって政治を行う職です。一方、関白は天皇が成人した後に、その補佐として政務を司る職です。藤原氏はこれら二つの職を独占することで、天皇の成長段階に関わらず常に政治の頂点に君臨し続けました。
問10	答え 4 国家の正史を編纂する事業の一環として、天皇の命により『古今和歌集』が日本初の勅撰和歌集として編纂された。	平安時代、藤原氏による摂関政治が行われる中で、天皇の権威を示す文化的事業として和歌の収集が行われました。醍醐天皇の命によって編纂された『古今和歌集』は、かな文字を用いた和歌が公的な地位を獲得したことを象徴しており、国風文化を代表する成果といえます。なお、聖武天皇と国分寺は奈良時代、東山文化は室町時代、鎖国下の町人文化は江戸時代の出来事であり、平安時代の説明としては不適切です。
問11	答え 1 国風文化	唐の衰退により遣唐使が廃止されたことで、中国との直接的な交流が減少しました。その結果、それまでの大陸文化の影響を土台にしつつも、日本の気候や生活習慣、日本人の感情に深く根ざした独自の文化が発展しました。この文化は、特に摂関政治が行われた平安時代中期に貴族の間で全盛を迎えました。
問12	答え 3 寝殿造	平安時代の中期、日本独自の風土や感覚に合わせた国風文化が栄えました。この時期、貴族の邸宅として用いられた建築様式は「寝殿造」と呼ばれます。池を中心とした庭園を囲むように、中心となる建物（寝殿）と、そこから伸びる廊下（渡殿）でつながれた開放的な構造が大きな特徴です。
問13	答え 4 金	奥州藤原氏は、領内から産出される豊富な「金」を経済基盤として、平泉に中尊寺や毛越寺などの壮麗な寺院を建立しました。この金は当時の日本における重要な交易品であり、平泉から京都へ送られただけでなく、大陸の宋（中国）への輸出にも使われ、奥州藤原氏の強大な権力と富の源泉となりました。
問14	答え 3 桓武天皇による国司の監督強化、藤原道長らによる摂関政治、白河天皇による院政	平安時代初期、桓武天皇は勘解由使を設置して国司の交代時の不正を厳しく監督し、天皇中心の政治を立て直そうとしました。中期になると、天皇の外戚（母方の親戚）となった藤原氏の道長・頼通親子が摂政・関白として実権を握る摂関政治が全盛期を迎えました。その後、藤原氏を抑えるために白河天皇が位を譲ったあとも上皇として政治を行う院政を開始し、政治の主導権が移り変わっていきました。